



## いちご組（0歳児）

先日、米粉粘土遊びで子ども達がそれぞれ違う反応を見せてくれました。粉をボウルに入れて見せると、突然手を出して触る子がいました。白くなった手を不思議そうに眺めていましたよ。すると見ていた子が「私も」と手を入れて、さらさらの粉の感触に思わず笑顔に。他の友達もボウルを手で押し返すほど怖がっていました。粉に水を入れると1番に触った子がこわごとと様子見。さらに食紅で色付けすると表情をこわばらせる子も…。反面、もちもちの粘土を大喜びで叩いたりちぎる子がいて、形が変化する粘土と楽しそうな表情にみんな興味がわいてきた様子。冷たくて柔らかい触り心地に「おー」と歓声を上げていました。緊張していた子も友達の粘土を触り始めにっこり！友達と一緒に楽しめる事もありますね。まだ集中する時間は短めですが、このように心を動かし夢中で遊ぶ体験を沢山重ねていきたいですね。（正田）



## さくら組（1歳児）

寒波の影響もあり寒さが厳しく感じられますが子ども達は寒さに負けず帽子やジャンパーを自分で出して外に行きたがっています。毎日の生活面でも子ども達の成長を感じる場面が多くなっていました。朝「おやつだよ」と声をかけるとエプロンを出して水道に向かう流れが出来ており、靴もほぼ自分で履けるので保育士が手伝うのは最後の部分だけだったりします。また食事の際には保育士が「いただきます」の挨拶をすると手を合わせて挨拶をしようとする姿が可愛いです。日常のやり取りの中でも「おはよう」の挨拶から「ぎゅー」と言って抱きしめてくれるようなスキンシップまで色々な表現で伝えてくれるようになりました。

ちゅうりっぷ組になるまであと少しですが子ども達の心身の成長を促していけるように過ごしていきたいと思います。

（五味）



## ちゅうりっぷ組（2歳児）

寒さが厳しい毎日が続いていますが、ちゅうりっぷ組の子どもたちは元気いっぱいです。友だち同士で遊ぶことも増え、「いれてー」「いいよー」と言葉を交わしながら一緒に遊んでいる姿が見られ微笑ましいです。遊びでは今、パズル遊びにはまっている子どもたち。最初は「できない」の声がちらほら聞こえていましたが、最近では「できた」「みて」の声が多くなり嬉しそうに見せてくれます。ピースの多いものにも挑戦する子もいて、集中力の凄さに驚かされています。製作活動もたくさん行いました。雪だるま、鬼のお面、豆入れ等、様々な作り方でしたが話を聞き最後まで集中して取り組めるようになってきました。出来上がりをみんなで見ると「これ〇〇ちゃんの一」と友だちの作ったものも覚えているのにびっくりです。

食後のうがいも始まりました。家から自分のコップを持ってきたことが嬉しくて毎日喜んで行っています。

（野本）



## もも組（3歳児）

寒さが厳しさを増す中、頬や鼻を赤らめながらも元気に過ごしている子ども達。正月遊びで凧を作りました。子ども達にどんな絵を空に飛ばしてみたいか質問をすると「救急車・消防車・くだもの・先生のお顔」など沢山出てきました。クレヨンで思い思い描き完成した凧を持って農道に行くとちょうどいい風が吹いていました。いっぱい走り凧をあげ、風が吹いている向きに立って凧が泳いでいるのを楽しんでいました。1月から2チームに分け給食後の雑巾がけが始まりました。雑巾を絞るのがまだまだあまく、床をビチャビチャにしてしまう時もあります。一生懸命床を綺麗にする子供たちの姿がとてもかっこいいです。「あっこまだ汚れている」と細かいところまで気づき拭いてくれます。ピカピカの部屋になると嬉しい気持ちになりますね。これからも頑張っていきたいと思います。（今井）



## ばら組（4歳児）

「おにはそと！ふくはうち！」いよいよ節分が近づいてきました。子どもたちは、豆まきをする準備万端です。「自分の中の何鬼を退治する？」という話をしました。「私はね～ねぼすけおに！」「くいしんぼおに！」と色々な心の鬼が登場しました。豆入れ製作は色画用紙で箱を折りました。固くて大変だったと思いますが、友達ができずにいると助けてあげようとする姿がみられました。もちろん全部助けてしまうのはその子の為にはなりません、助けてあげようという気持ちが嬉しいですね。教えてもらった友達も「ありがとう」と嬉しそうでした。自発的な子どもたちの優しさに心がホッとするエピソードでした。縄跳びの練習と同じように「縄を結ぶ」練習も頑張っています。できることが増えると嬉しいですね！「先生できたよ！」と達成感でいっぱいの顔は輝いています。体調に気を付け冬の遊びを楽しんでいきたいです。（滋野）



## ゆり組（5歳児）

最近ドッチボールが大ブームです。友達との関わりを学び協調性も育っています。自分達でチームを分け、外野を一人決め、担任は審判をするだけでスムーズに進んでいきます。一人もかけることなく参加し、勝敗を友達と一喜一憂しています。先日は、みんなの良いところをゆり組会議で一人ずつ発表しました。はにかみながら顔を赤くして「うれしい…」「ありがとう」と友達からの言葉に胸がいっぱいの子でした。全員の発表が終わると一人の子が「つぎはまちこせんせいのばんだよ！」と私の手を引きみんなの前へ…すると子ども達が手を挙げて、私の好きなところをどンドン発表してくれました。その心遣いと温かい言葉に涙が止まりませんでした。本当に優しい15名の子ども達です。「つぎはあやこせんせいね！」と幸せな担任2人です。その日は心がほかほかで、忘れられない日になりました…（月足）